



成分分析
ブランディング
BY FOOD SCIENCE LAB

横田園芸 御中

食用バラ YOKOTA ROSE

成分分析 結果レポート



2021. 03

dot science株式会社



1

結論

2

分析結果

3

分析の詳細





結論

対象の食品

食用バラ
YOKOTA ROSE

は

分析の結果

慣行栽培をする全国トップシェ
アの食用バラと比較して
香り成分の含有量が
3,848.55倍多い
したがって
香り高さにおいて
圧倒的に優位性がある食用バラ

である



分析結果

なにを	どこと比べて	どのような品質が	どれくらい違ったのか
対象の食品	比較した食品	分析項目	結果
食用バラ YOKOTA ROSE	全国トップシェアの 慣行栽培で育てた 食用バラ	香り成分 バラ様香気成分	3,848.55倍多い



分析の詳細



分析概要

1-1. 食用バラの香り高さ

上記の1点の品質を証明することで、食品の差別化を図ります。



分析サンプル

2-1. YOKOTA ROSE

2-2. 慣行栽培の食用バラ

※実際には企業名が入ります



分析項目

3-1. 香り成分

✓ バラ様香気成分



分析期間

2018年11月1日～12月20日

01

対象の食品

食用バラ
YOKOTA
ROSE

の

分析項目

香り成分

を分析しました

02

対象の食品

食用バラ
YOKOTA
ROSE

と

比較する食品A

慣行栽培の
食用バラ

を比較しました

03

分析する成分

香り成分

の

成分詳細

バラ様
香気成分

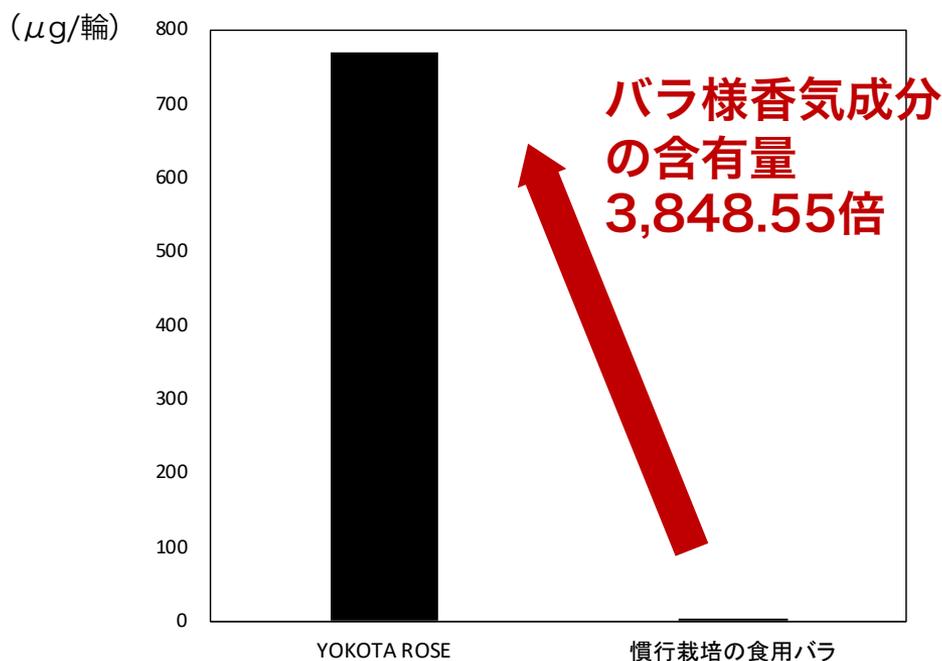
を分析しました

分析期間

2018年11月1日～2018年12月20日

* 香り成分について

「食用バラ YOKOTA ROSE」は慣行栽培の食用バラよりも香り高さが3,848.55倍
香り成分であるバラ様香氣成分を定量。YOKOTA ROSEのバラ1輪あたりのバラ様香氣
成分の含有量は769.71 μg /輪であり、慣行栽培の食用バラの0.20 μg /輪と比較して
3,848.55倍であった。



YOKOTA ROSEおよび慣行栽培の食用バラの1輪あたりの
バラ様香氣成分の含有量

*分析数値については小数点第3位を四捨五入し記載
倍率については四捨五入しない数値をもとに算出し記載

結論

食用バラYOKOTA ROSEは慣行栽培をする全国トップシェアの食用バラと比較して香り成分の含有量が3,848.55倍多い。したがって香り高さにおいて圧倒的に優位性がある食用バラである。

分析した食品

食用バラ
YOKOTA
ROSE

慣行栽培の
食用バラ

-

香り成分

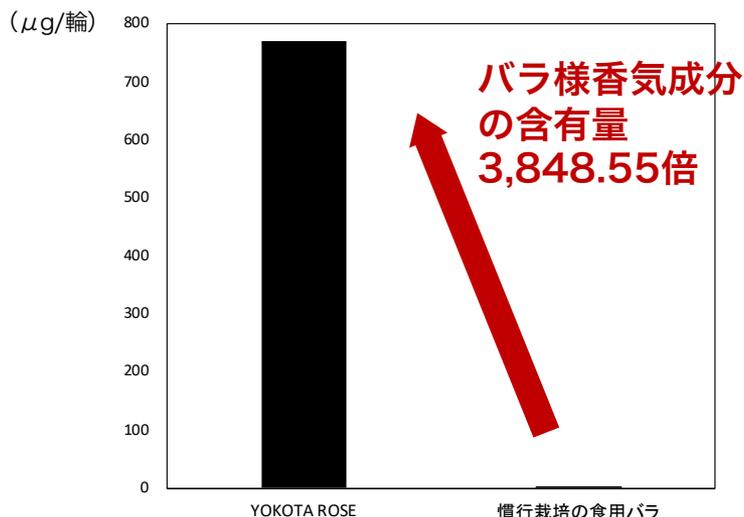
① バラ様香氣成分

① 769.71 μg /輪

① 0.20 μg /輪

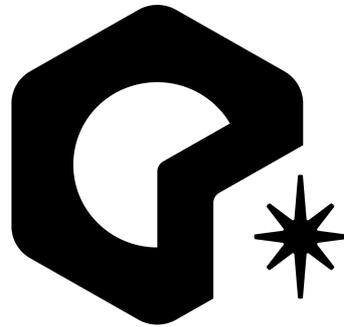
-

分析結果



YOKOTA ROSEおよび慣行栽培の食用バラの1輪あたりのバラ様香氣成分の含有量

相場より高く売ろう



成分分析
ブランディング

